

令和2年度第3回岡山県和牛改良委員会 議事概要

- 1 日時 令和3年3月11日(木) 13:30~15:15
- 2 場所 全農岡山県本部総合家畜市場会議室(真庭市草加部)
- 3 出席者 委員8名、オブザーバー5名、事務局:4名 傍聴:1名
*今回は、R3年度及び今後の種雄牛造成について意見聴取するため、生産者オブザーバーに出席をいただいた。

4 協議事項

(1) 直接検定終了牛の措置について 事務局提案どおり承認(資料)

直接検定が終了、または近日終了予定の計7頭について、今後の取り扱いを協議。後代検定を実施する種雄牛として「哲多1276」「零茂」の2頭が選抜された。

<意見>

- ・選抜落ちとした2頭「花岡光」(増体に優れる)、「勝次郎」(期待育種価が高い)を惜しむ意見があったが、以下により去勢とした。
「花岡光」:発育及びゲノミック評価値は優良だが、過大(4.5σ)及び均称が劣り、難産の危険性が高い
「勝次郎」:発育及び期待育種価は良好だが、脂肪交雑のゲノミック評価値が低い
- ・その他、岡山系種雄牛の造成を求める意見、バラ厚の改良を進めるべきとの意見が出された。

(2) 後代検定終了牛の措置について 事務局提案どおり承認(資料)

候補種雄牛「藤沢花茂」の淘汰について承認。(肉量、肉質とも父:藤沢茂に劣る)

(3) 第12回全国和牛能力共進会について

県下の種牛の部、肉牛の部の取組状況について説明。

(4) 令和3年度種雄牛作出方針(案)について 事務局提案どおり承認(資料)

本県の種雄牛造成方針である、岡山系・増体型・資質系種雄牛の造成方針について協議。

<意見等>

- ・県有種雄牛精液の供給本数、県内寄与率について
- ・厳選した優秀雌牛からの全国に通用する種雄牛作出、県内雌牛群の改良の必要性
- ・育種能力だけでなく種牛性にも重点を置いた改良の必要性
- ・オレイン酸だけではない「美味しさ」指標の探索
- ・岡山系種雄牛の保存、増体系種雄牛の作出要望

以上